

# 日医工MPI行政情報

<http://www.nichiiko.co.jp/stu-ge/>

## 一般名処方方の動向

～平成24年度 後発医薬品の使用状況調査 結果概要（速報）より～  
平成25年2月27日中医協総会資料

株式会社日医工医業経営研究所（日医工MPI）

資料作成：飯田裕美（日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第6345）



Nikky

中医協総会に提出された  
159ページの資料から、  
「一般名の動向」に関する  
図表を抜粋しました。

資料No.20130325-306



株式会社日医工医業経営研究所

# 調査の概要

処方せんベース(567施設)  
品目ベース(546施設)

## 調査対象( )内は回答数

- ・保険薬局調査: 全国の保険薬局の中から無作為抽出した2,500施設(1,113施設)
- ・診療所調査: 全国の一般診療所の中から無作為抽出した2,000施設(506施設)
- ・病院調査: 全国の病院の中から無作為抽出した1,500施設(323施設)
- ・医師調査: 上記「病院調査」の対象施設に勤務する、診療科の異なる2名の医師。(458人)
- ・患者調査: 上記「保険薬局調査」の対象施設に調査日に来局した患者。(1,332人)  
ただし、1施設につき最大2名の患者とした。

## 調査実施期間

平成24年8月31日～平成24年10月22日

# 総括

- 処方せん調査(1週間)では取扱い処方せんのうち30%程度が一般名で処方されている。
- 一般名処方された品目は60%以上の割合でジェネリックが調剤された。
- 患者の80%以上は一般名処方またはジェネリックに変更可の処方せんの発行を希望している。
- 本報告は平成25年夏に行われる予定である。

## 病院・診療所調査

## 病院・診療所の状況

## 外来診療の状況

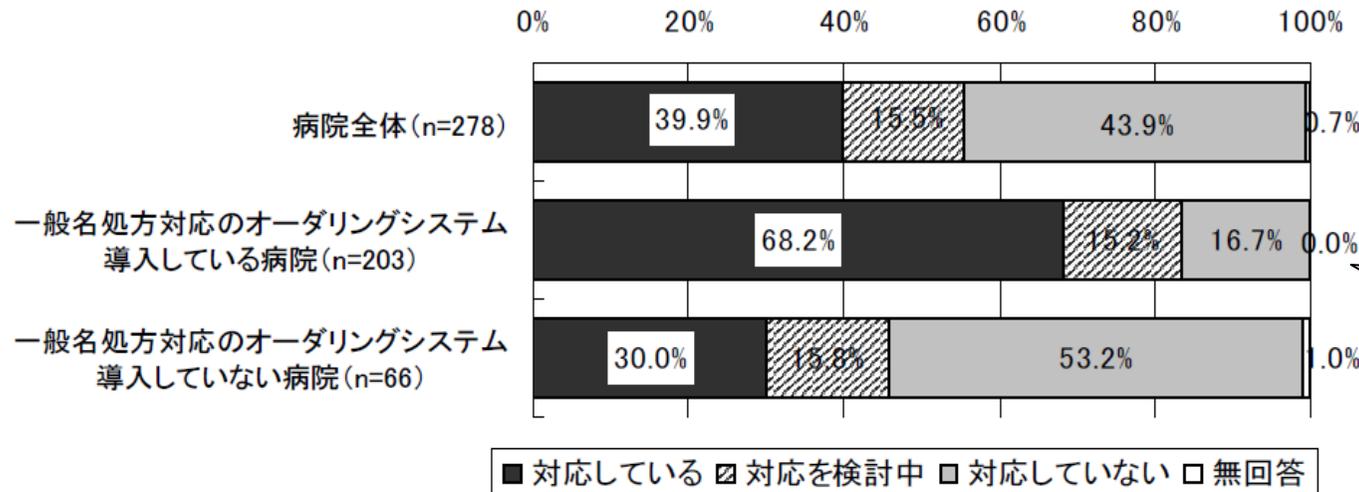
	診療所			病院		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
外来診療実日数(日)	19.2	4.8	20.0	23.7	2.9	23.0
外来延べ患者数(人)	1,192.5	856.7	1,055.0	7,185.5	8,258.0	4,186.5
処方せん料の算定回数(回)	737.3	688.2	620.5	3,185.3	3,680.6	1,805.5
一般名処方加算の算定回数(回)	278.1	381.5	80.5	308.1	743.2	0.0
一般名処方加算算定率	37.7%		13.0%	9.7%		0.0%

診療所の方が一般名処方加算算定率が高い

病院・診療所調査

# 病院の状況

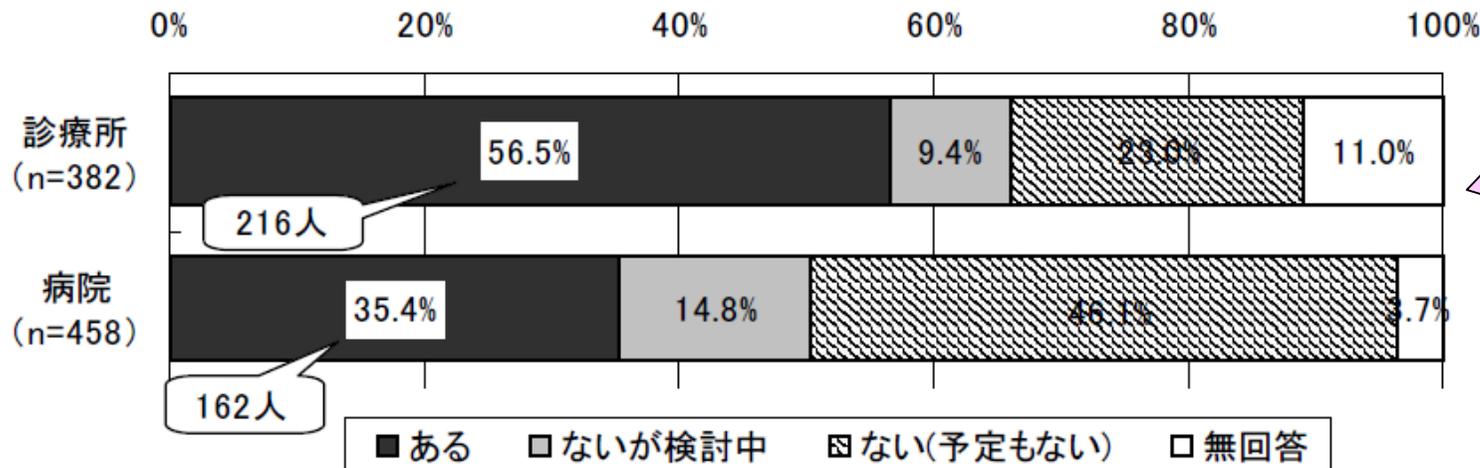
## 病院における、一般名処方による処方せん発行への対応状況



一般名処方対応オーダーリングシステムを導入している病院の約70%が一般名処方に対応している。

医師調査

## 一般名処方による処方せん発行の経験の有無 (医師ベース)

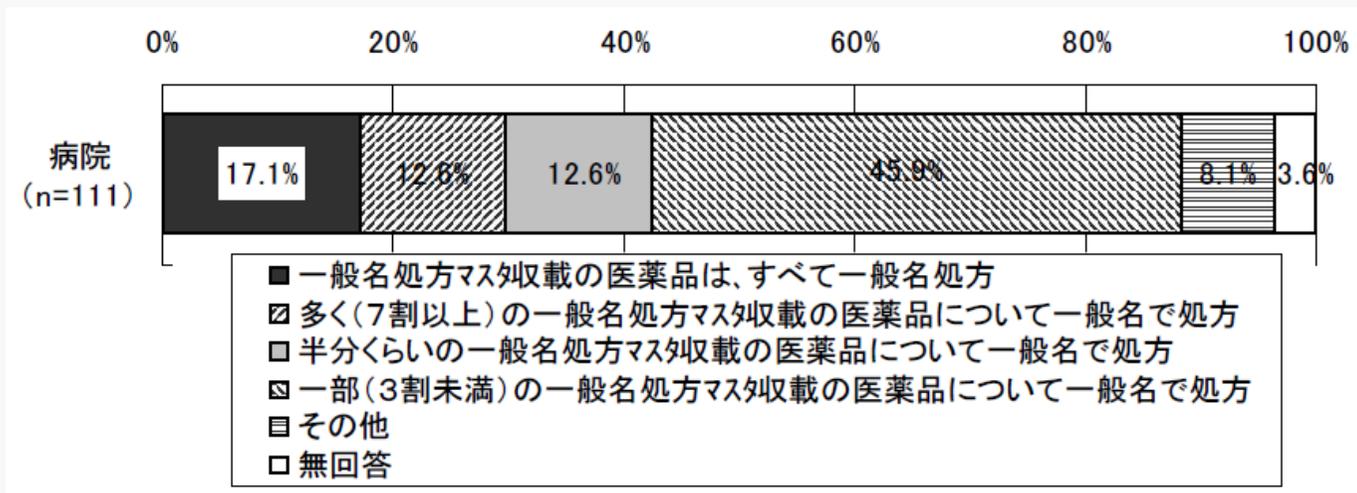


一般名処方の処方せん発行経験は診療所が多い。病院の医師は検討中を含めると約50%であった。

## 病院・診療所調査

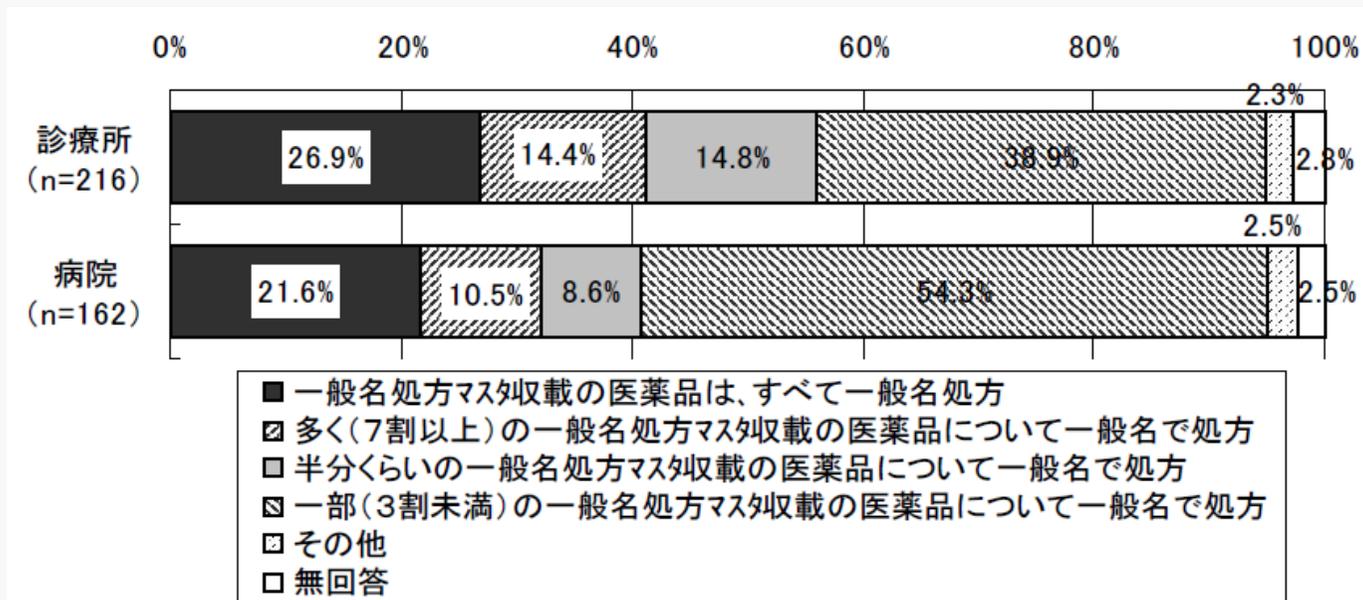
## 病院の状況

## 病院における一般名処方による処方せんの発行状況



## 医師調査

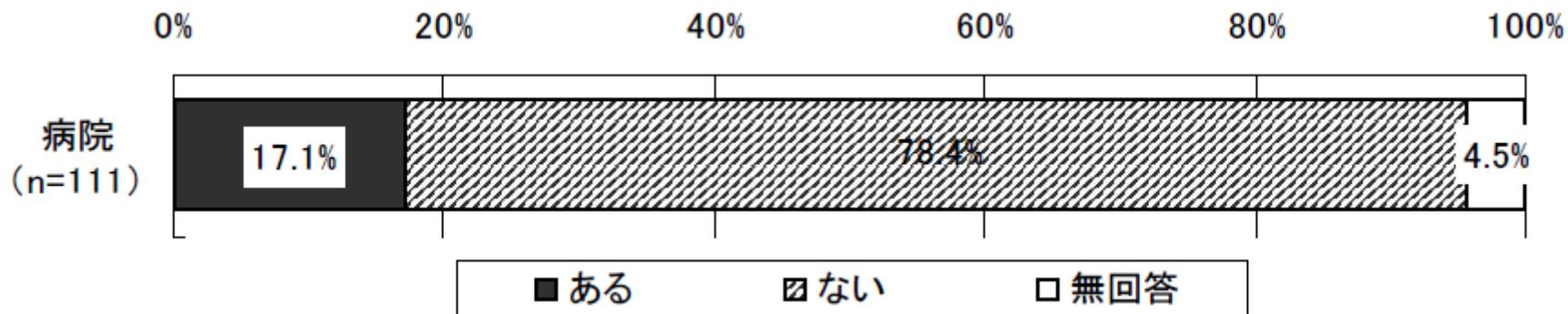
## 一般名処方による処方せんの発行状況(医師ベース)



## 病院・診療所調査

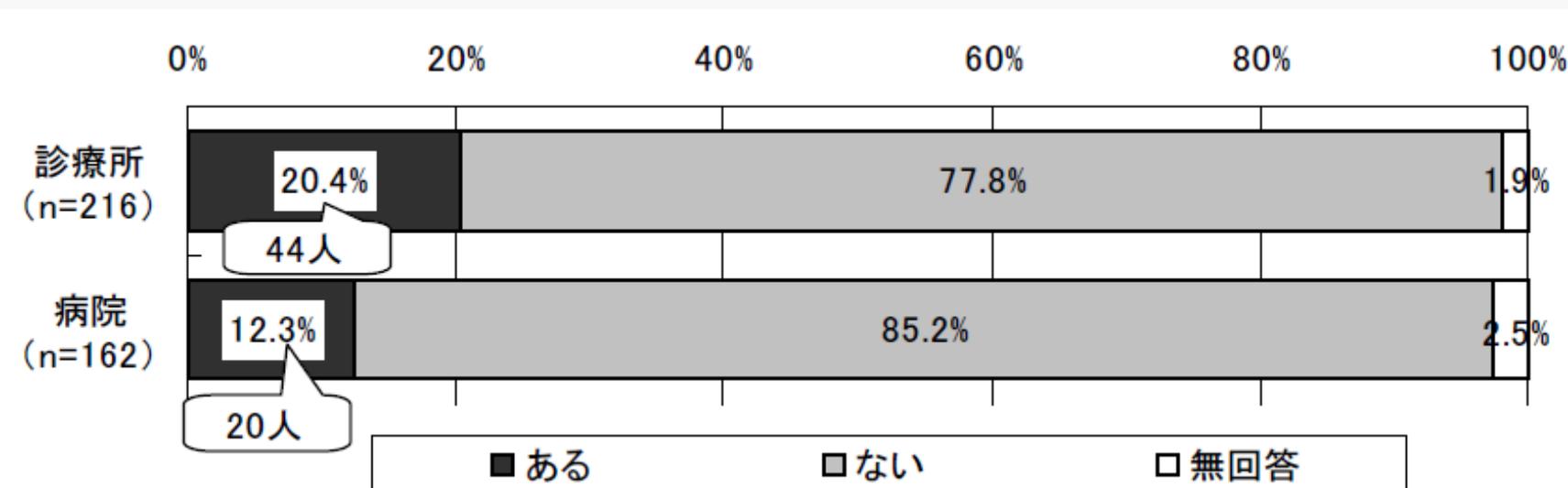
## 病院の状況

一般名処方による処方せん発行により患者から相談や問合せを受けた経験の有無



一般名処方による処方せん発行により患者から相談や問合せを受けた経験の有無(医師ベース)

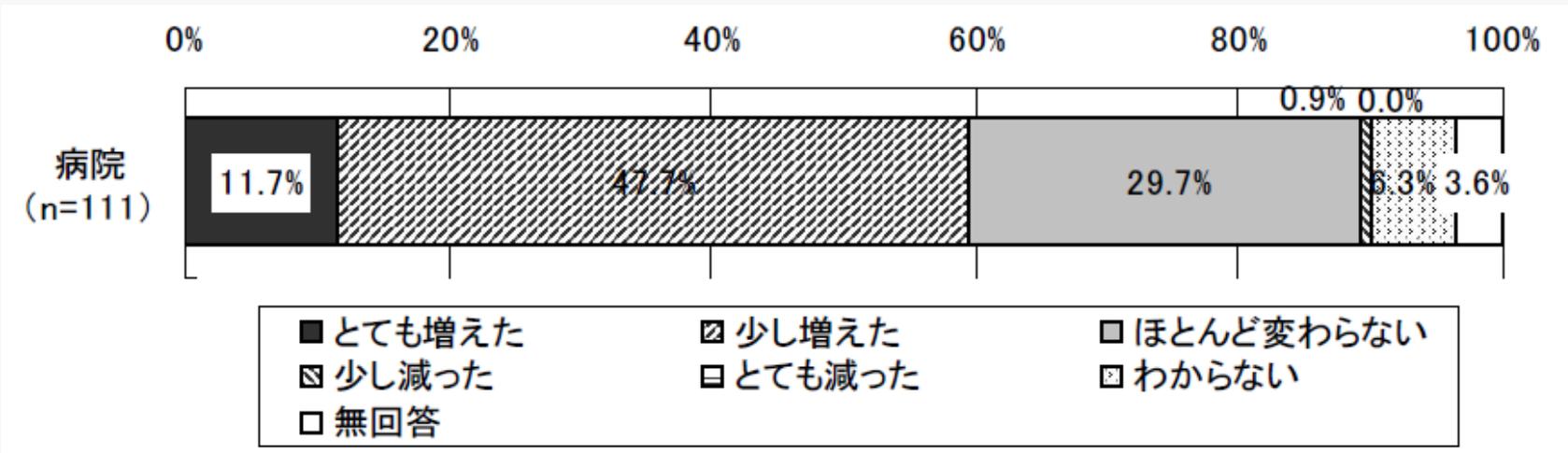
## 医師調査



病院・診療所調査

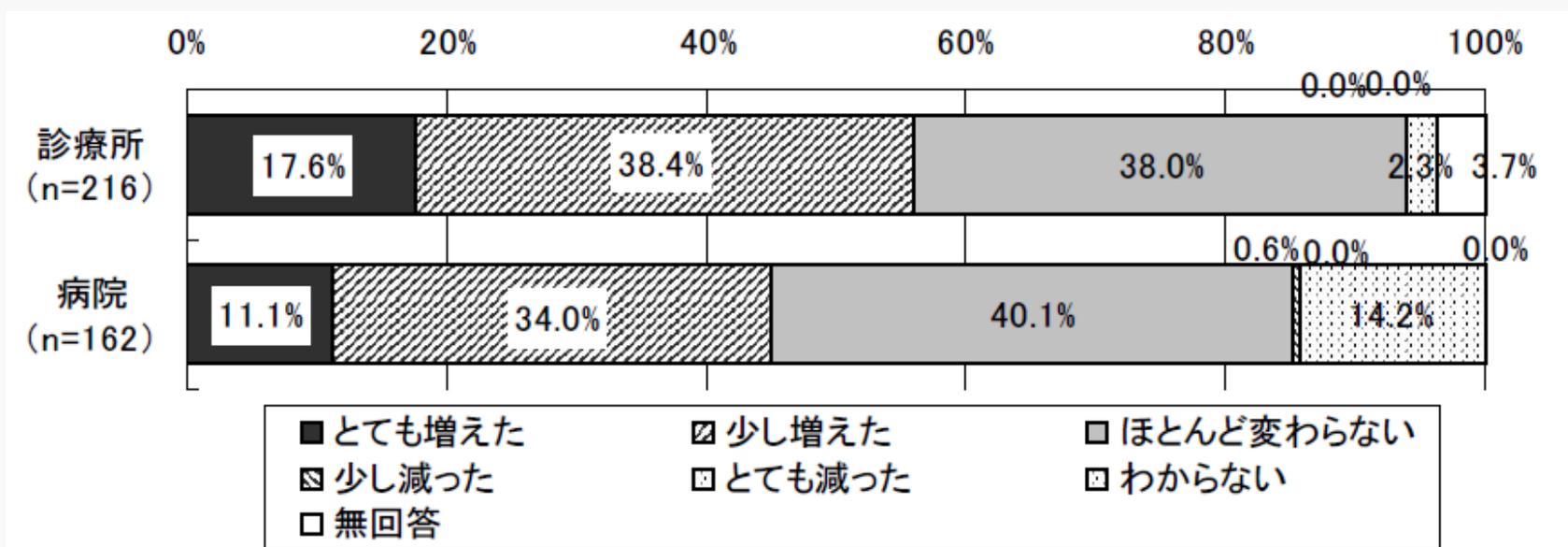
# 医師の状況

## 一般名処方による処方せん発行による事務的な負担の変化



医師調査

## 一般名処方による処方せん発行による事務的な負担の変化(医師ベース)



## 1週間の取扱い処方せん枚数の内訳

## 薬局調査

	枚数	割合	割合
①すべての取扱い処方せん	125,952	100.0%	
② ①のうち、1品目でも「変更不可」となっていない品目がある処方せん(変更不可欄に、「レ」又は「×」が記載されていない医薬品がある処方せん。一般名処方を含む)	96,576	76.7%	100%
③ ②のうち、全ての品目が「変更不可」となっていない処方せん(変更不可欄に、「レ」又は「×」の記載が1つもない処方せん。(一般名処方を含む)	86,414	68.6%	89.5%
④ ②のうち、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん	47,640	37.8%	49.3%
⑤ ④のうち、1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん(一般名処方によるものを後発医薬品で調剤した場合を含む)	26,410	21.0%	27.3%
⑥ ②のうち、1品目でも一般名処方となっている処方せん	39,155	31.1%	40.5%
⑦ ②のうち、いずれの先発医薬品にも後発医薬品が薬価収載されておらず、後発医薬品に変更できなかった処方せん	11,853	9.4%	12.3%
⑧ ②のうち、患者が希望しなかったため、1品目も後発医薬品に変更できなかった処方せん(過去に確認済みの場合を含む)	20,518	16.3%	21.2%
⑨ ②のうち、外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった処方せん(クリーム、ローション、軟膏はそれぞれ別剤形とする)	3,222	2.6%	3.3%
⑩ ①のうち、すべてが変更不可となっている処方せん	29,376	23.3%	
⑪ ⑩のうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せん	7,898	6.3%	

1品目でも一般名処方となっている処方せんは全体の約30%

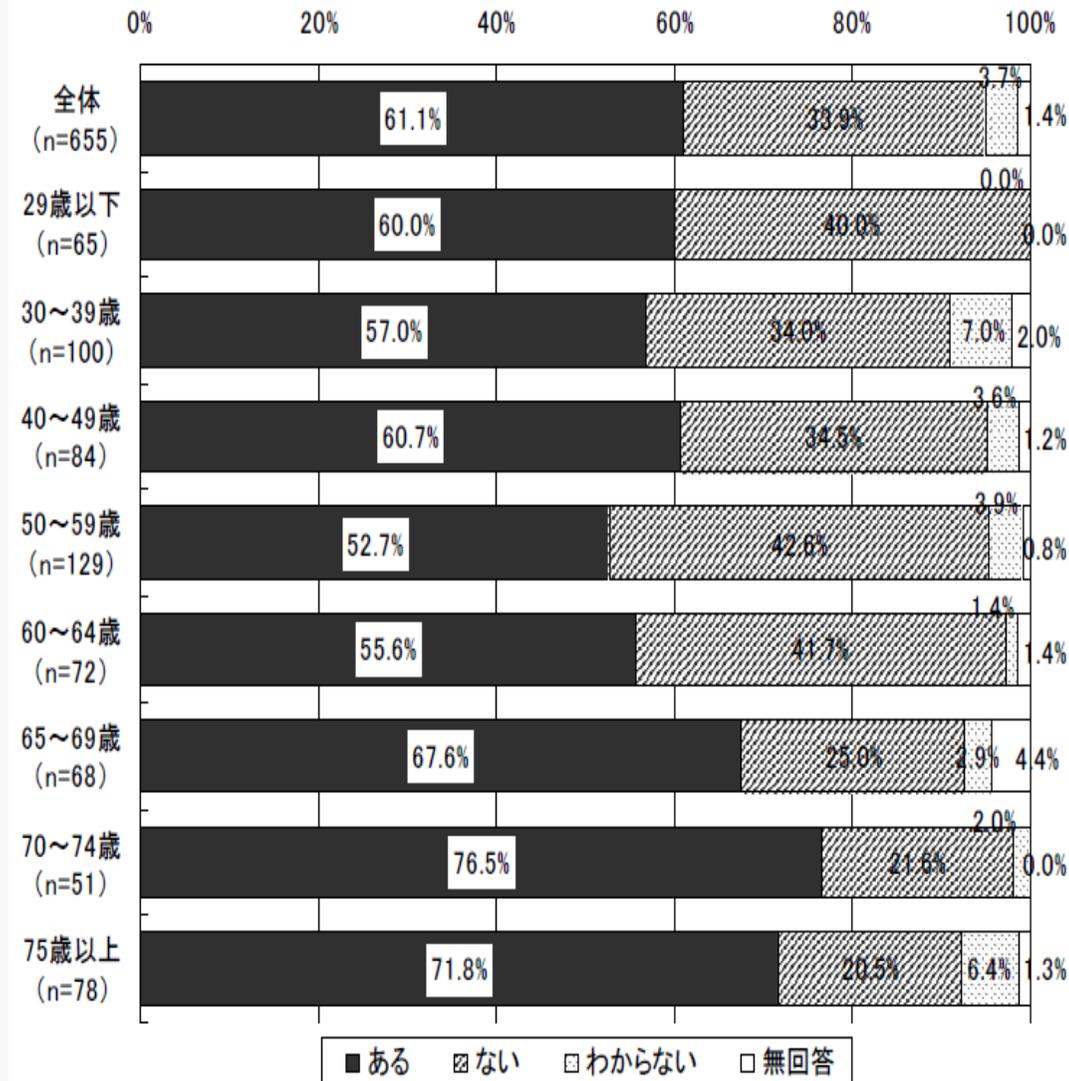
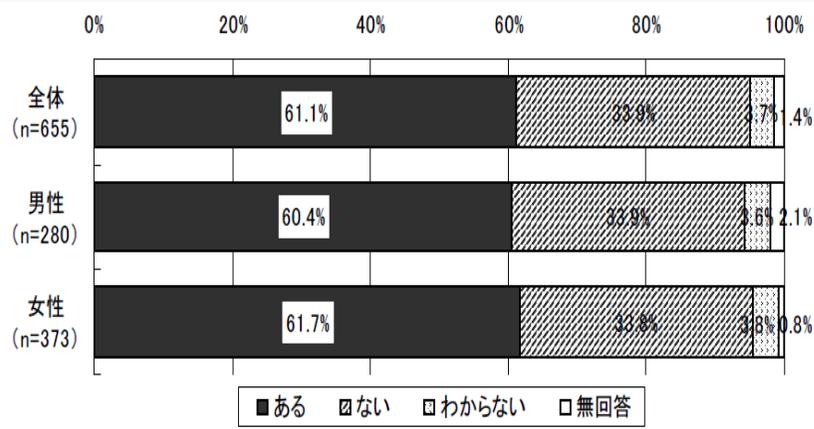
患者調査

# 一般名処方処方せんについて

## 一般名処方処方せんを受け取った経験の有無

(男女別)

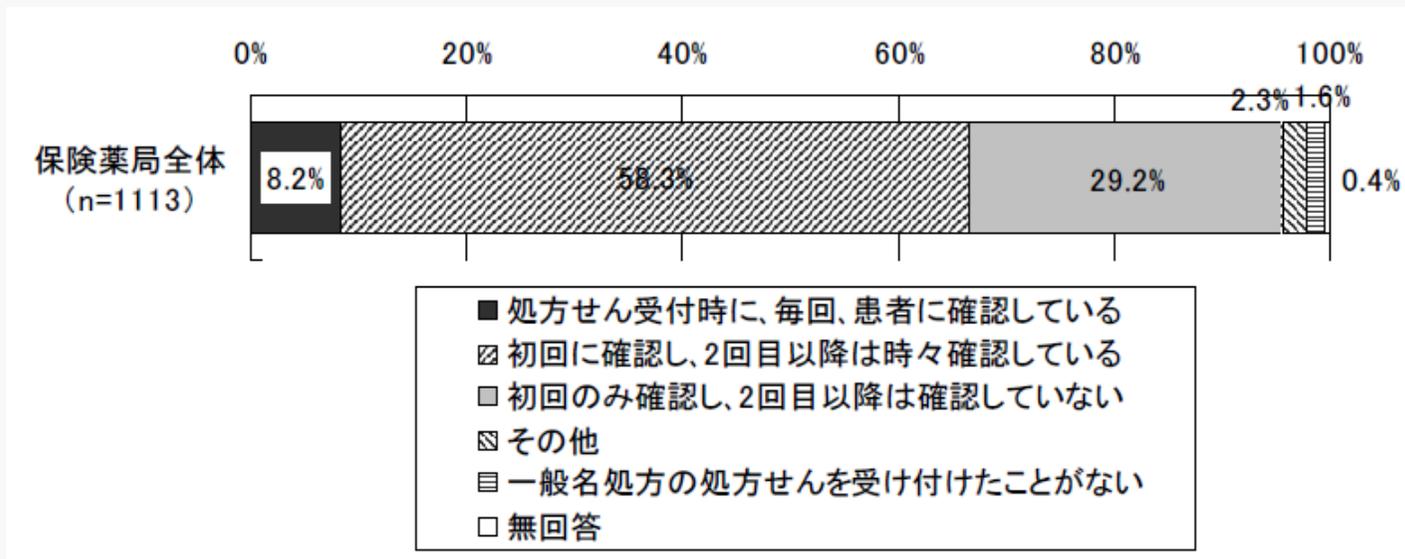
(年齢階級別)



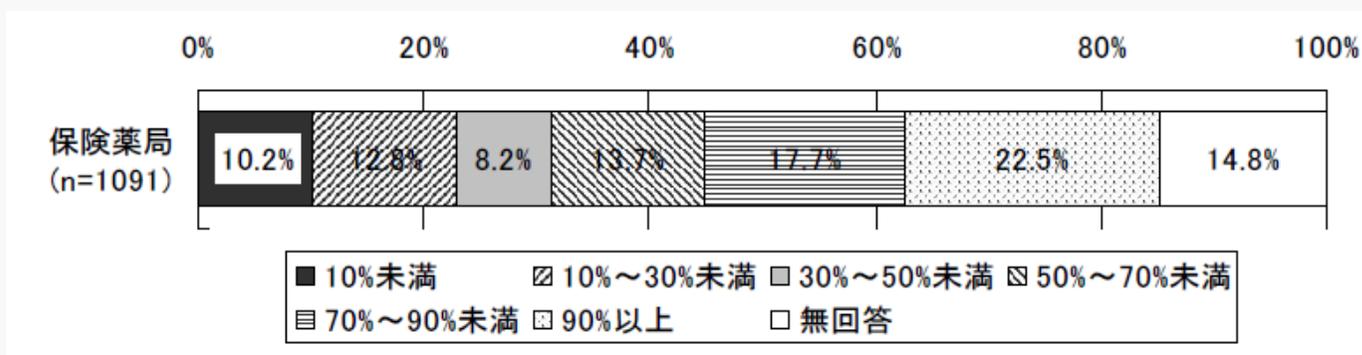
一般名処方処方せん受け取り率について男女差はないが、年齢階級別では年齢が高い方が受け取り率が高い傾向にある。

## 一般名処方処方せん受付時の対応

一般名処方処方せんについて、後発医薬品使用に関する患者の意向確認の状況



一般名処方の処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品についての十分な説明を行った患者の割合



## 患者調査

## 一般名処方処方せんに対する薬局からの説明

一般名処方処方せんについて薬局の薬剤師から受けた説明内容(複数回答)

	全体	男女別		年齢階級別			
		男性	女性	～49	50～64	65～74	75～
ジェネリック医薬品とは何かという説明	57.3%	60.9%	54.3%	58.5%	54.6%	58.8%	53.6%
一般名処方では医薬品を患者が選択できる	66.5%	72.2%	62.2%	73.5%	67.6%	57.6%	60.7%
調剤できるジェネリック医薬品の名前	34.5%	37.9%	31.7%	35.4%	36.1%	36.5%	26.8%
先発医薬品とジェネリック医薬品との価格差	44.5%	50.3%	40.4%	42.2%	38.9%	50.6%	51.8%
その他	1.8%	3.0%	0.9%	1.4%	2.8%	1.2%	1.8%
説明はなかった	4.8%	2.4%	6.5%	6.1%	3.7%	7.1%	0.0%
無回答	10.0%	5.9%	13.0%	9.5%	8.3%	10.6%	14.3%

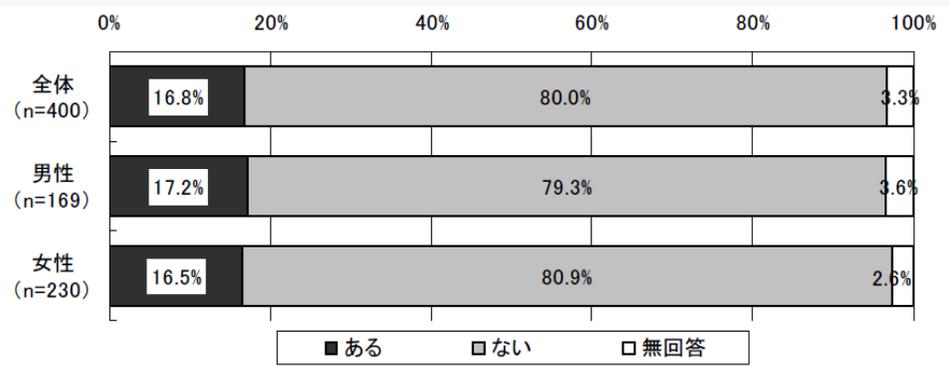
一般名処方の処方せんについて薬局では多くの患者が一般名処方では医薬品を選択できるという説明を受けている。

患者調査

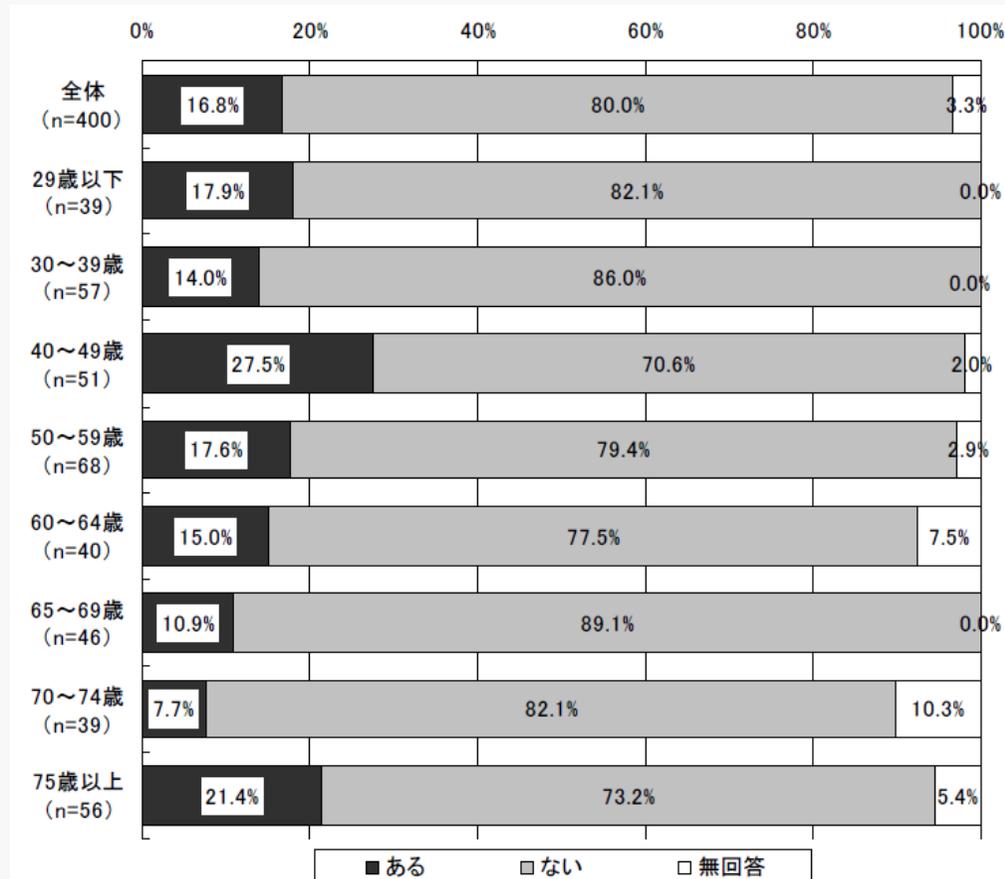
# 一般名処方処方せんについて

## 一般名処方処方せんを受け取って困った経験の有無

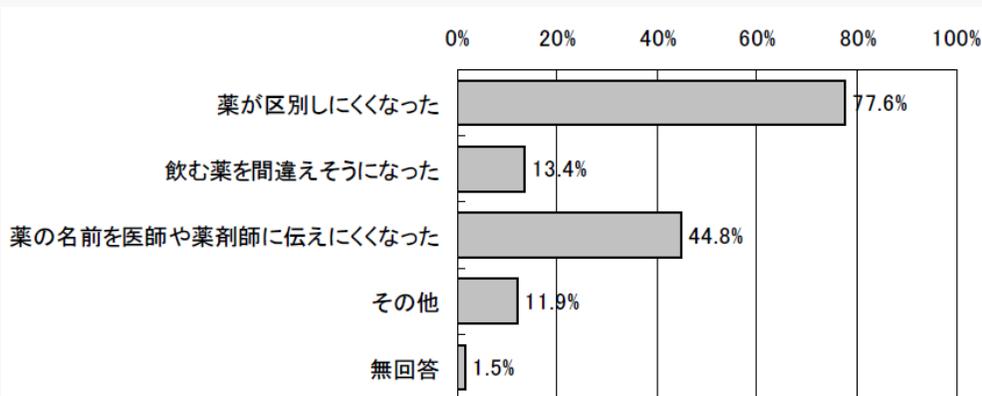
(男女別)



(年齢階級別)



(困った経験の内容)



患者が一般名処方での処方せんを受け取って困った経験は男女差はないが、年齢階級別に見ると40歳代と75歳以上が比較的多い。

## 薬局調査

## 後発医薬品への変更割合（品目ベース）

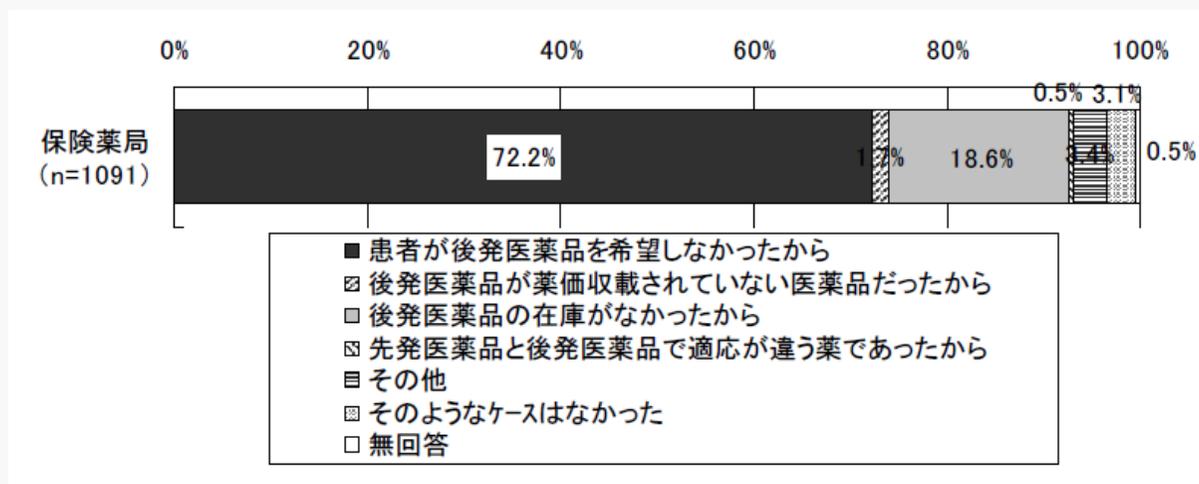
	品目数	割合	割合
①全ての取扱い処方せんに記載された医薬品の品目数	212,391	100.0%	
②①のうち、一般名で処方された医薬品目数	31,268	14.7%	100.0%
③②のうち、後発医薬品を選択した医薬品の品目数	19,362	9.1%	61.9%
④②のうち、先発医薬品（準先発品）を選択した医薬品の品目数	11,906	5.6%	38.1%
⑤①のうち先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品目数	142,645	67.2%	100.0%
⑥⑤のうち、「変更不可」となっていない医薬品目数	105,262	49.6%	73.8%
⑦⑥のうち、先発医薬品を後発医薬品に変更した医薬品目数	10,656	5.0%	7.5%
⑧⑥のうち、後発医薬品が薬価収載されていないため。後発医薬品目数	34,437	16.2%	24.1%
⑨⑥のうち、患者が希望しなかったため、後発医薬品に変更できなかった医薬品目数（過去に確認済みの場合を含む）	31,042	14.6%	21.8%
⑩⑥のうち、外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった医薬品目数	2,819	1.3%	2.0%
⑪①のうち、後発医薬品名で処方された医薬品目数	31,446	14.8%	100.0%
⑫⑪のうち、「変更不可」となっている医薬品目数	6,324	3.0%	20.1%
⑬①のうち、その他（漢方製剤など、先発医薬品・準先発品・後発医薬品のいずれにも該当しない医薬品）の品目名で処方された医薬品目数	7,032	3.3%	

一般名処方でも処方された品目の60%以上で後発医薬品が選択されている。

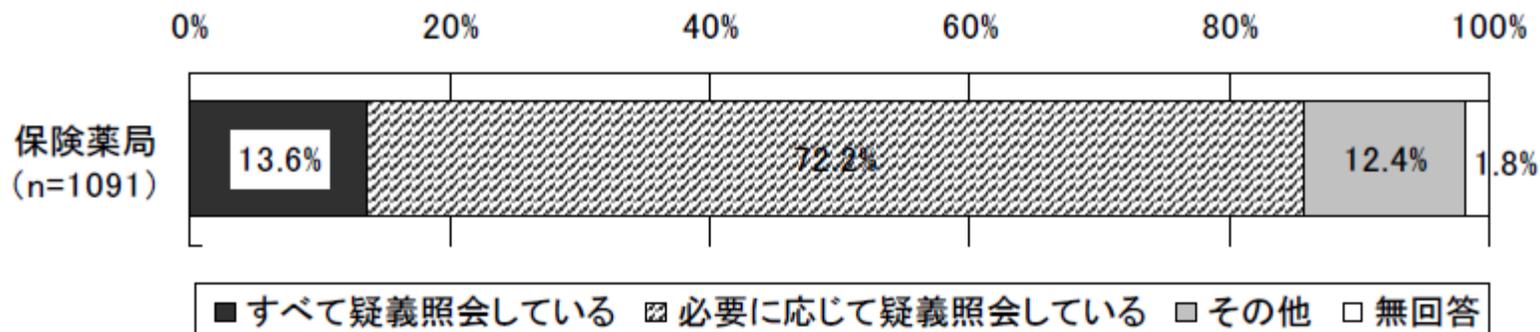
## 薬局調査

## 一般名処方処方せん受付時の対応

一般名処方の処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品を調剤しなかったケースについて最も多い理由



一般名処方で、先発医薬品と後発医薬品の効能の違いがある場合の対応

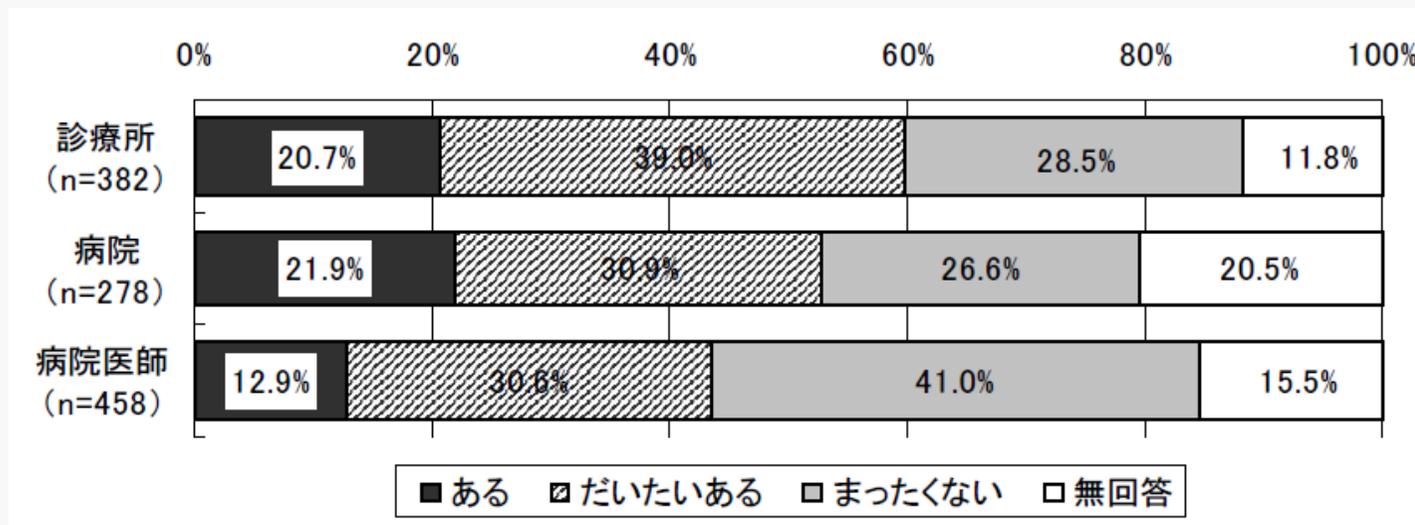


## 一般名処方による情報提供

病院・診療所調査

医師調査

一般名処方について医薬品の銘柄等に関する保険薬局からの情報提供の有無

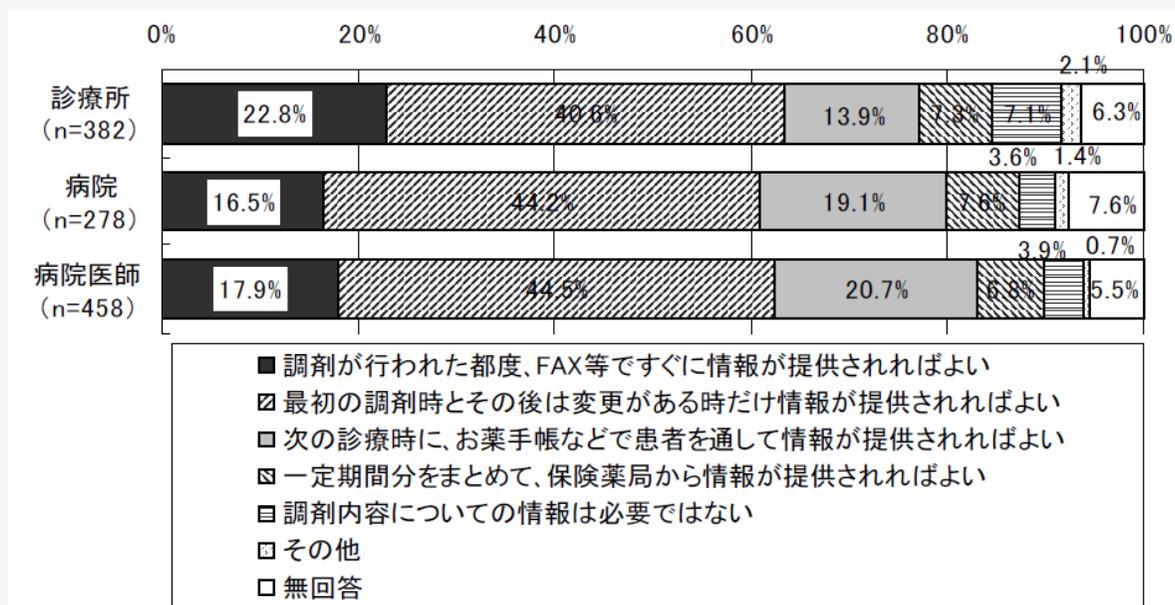


## 一般名処方による情報提供

病院・診療所調査

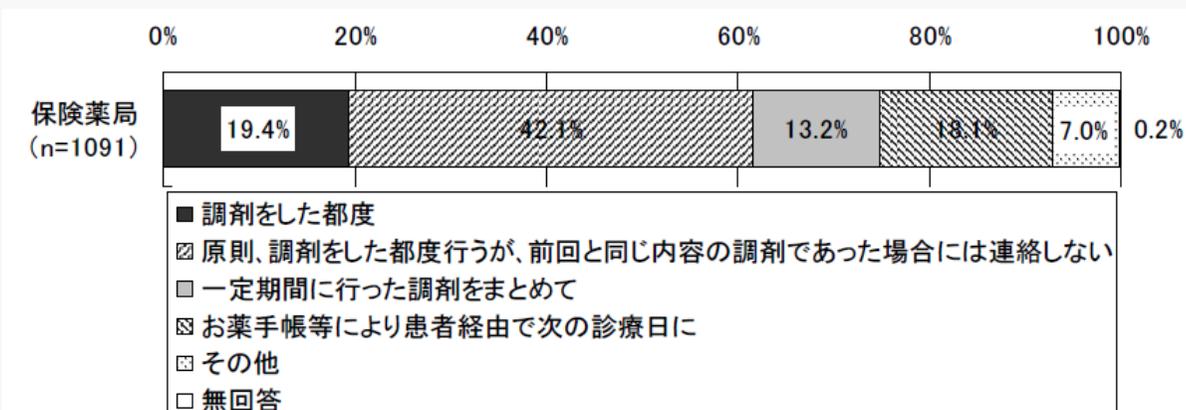
医師調査

一般名処方について、望ましいと思う保険薬局からの情報提供のあり方



薬局調査

一般名処方の医薬品の調剤について医療機関(医師)に情報提供を行うタイミング



## 後発医薬品への変更を進めるための要件

## 医師調査

どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いか

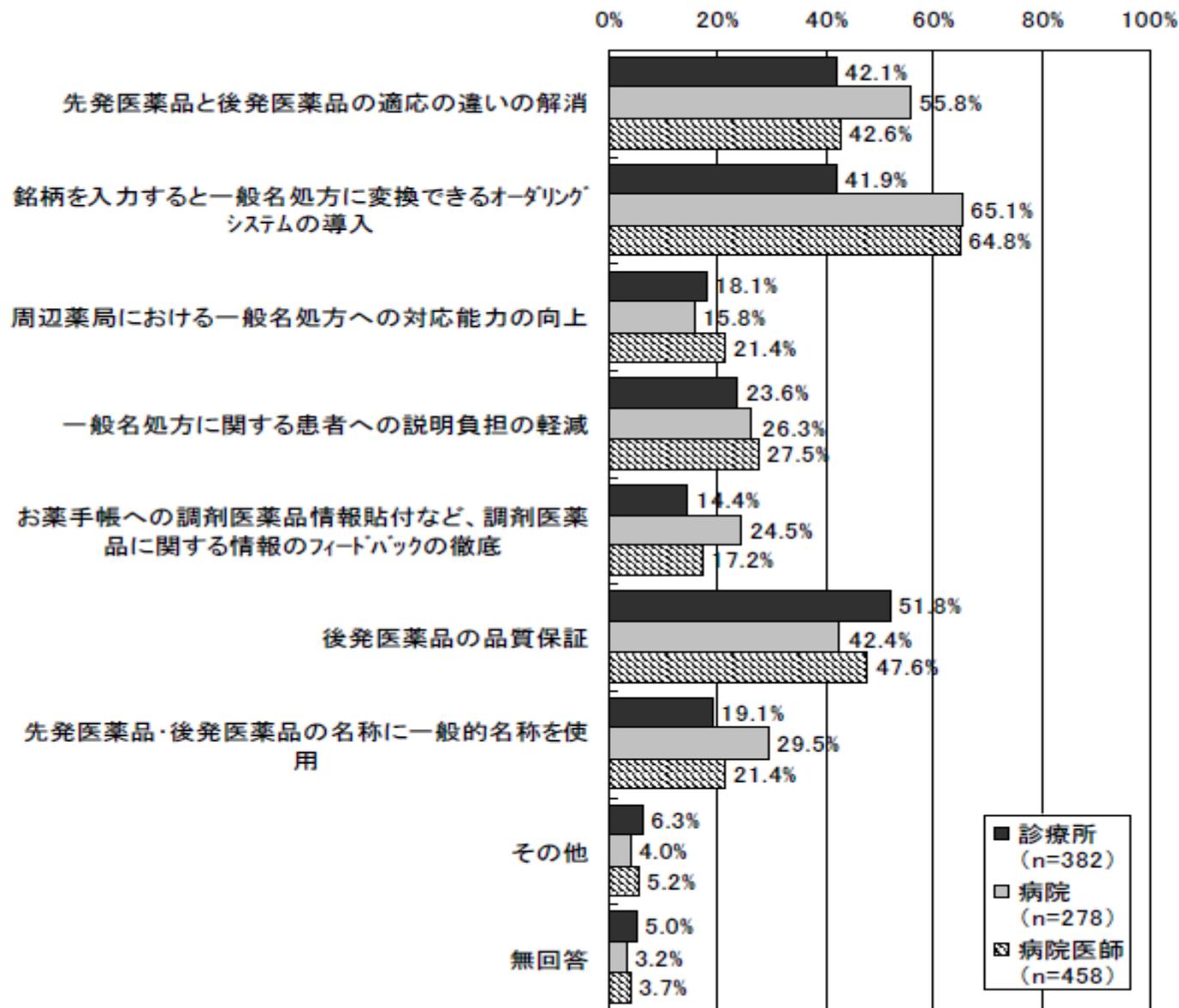
	診療所		病院	
	複数回答	最も重視	複数回答	最も重視
厚生労働省による品質保証が十分であることの周知徹底	70.0%	39.3%	69.9%	40.6%
後発医薬品メーカー・卸による情報提供体制の確保	44.5%	7.7%	48.5%	10.5%
後発医薬品の納品までの時間の短縮	8.7%	0.2%	6.1%	0.0%
後発医薬品メーカー・卸における在庫の確保	19.4%	1.6%	16.8%	1.5%
地域でよく使われている後発医薬品リストの作成・公開	17.8%	2.0%	20.3%	2.6%
後発医薬品の価格のバラツキや品目数の整理統合	35.6%	8.1%	27.7%	3.7%
一般名処方を行いやすくする環境の整備	34.6%	8.9%	40.4%	10.0%
後発医薬品に対する患者の理解	23.5%	3.4%	31.2%	6.6%
後発医薬品を処方する際の診療報酬上の評価	23.5%	3.6%	27.3%	4.6%
院内で後発医薬品の選定・採用を行える体制の整備	2.8%	0.4%	8.7%	0.7%
医学教育、薬学教育の中での取り上げ	5.5%	0.8%	7.9%	0.7%
特に対応は必要ない	5.5%	5.5%	2.4%	2.4%
その他	8.9%	8.1%	9.6%	7.0%
無回答	1.4%	10.5%	1.1%	9.2%

病院・診療所調査

医師調査

# 一般名処方推進の要件

一般名処方による処方せんを発行しやすくする方法



## 薬局調査

## 後発医薬品への変更を進めるための要件

後発医薬品への変更が可能な処方せん(一般名処方を含む)を受け付けたが、変更しなかった場合に関して、今後、薬局の立場として後発医薬品への変更を進めるための要件

	複数回答	最も重視
厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底	43.0%	12.7%
後発医薬品メーカー・卸による情報提供体制の確保	28.7%	3.3%
後発医薬品の納品までの時間の短縮	29.7%	2.5%
後発医薬品メーカー・卸における在庫の確保	43.0%	4.6%
地域の医療機関や保険薬局でよく使われている後発医薬品リストの作成・公開	17.2%	2.9%
後発医薬品の価格のバラツキや品目数の整理統合	43.5%	13.7%
一般名処方が普及すること	38.8%	12.8%
後発医薬品に対する患者の理解	53.0%	23.1%
後発医薬品に関する説明の手間や後発医薬品の調剤による薬剤料の減などを考慮した調剤報酬上の一層の評価	39.8%	11.3%
調剤室での薬の取り揃えの前に後発医薬品について説明する等、薬局における調剤手順の見直し	4.3%	0.4%
医学教育、薬学教育の中での取り上げ	7.1%	0.7%
特に対応は必要ない	1.3%	1.3%
その他	8.3%	5.5%
無回答	1.3%	5.2%

## 後発医薬品への変更を進めるための要件

後発医薬品の使用を進める上で医師に望むこと

	複数回答	最も重視
患者への積極的な働きかけ	34.3%	12.2%
後発医薬品への変更調剤に関する薬剤師への信頼感	21.6%	3.4%
患者が後発医薬品の使用を希望している場合、処方せんに変更不可の署名を行わないこと	52.7%	15.8%
後発医薬品の銘柄指定をしないこと	64.9%	24.3%
一般名処方とすること	42.2%	13.1%
お薬手帳への記載以外の医療機関(医師)への情報提供を不要とすること	34.0%	8.7%
疑義照会への誠実な対応	25.9%	1.5%
後発医薬品に対する理解	37.6%	11.1%
その他	2.7%	1.3%
医師に望むことは特にない	3.7%	3.7%
無回答	1.0%	4.8%

一般名処方や変更不可にしないことなど、処方せんに関する要望が多い。  
また一般名処方への要望も多い。

病院・診療所調査

## 後発医薬品への変更を進めるための要件

医師調査

後発医薬品の使用を進める上で保険薬局や薬剤師に望むこと

	診療所		病院		病院医師	
	複数回答	最も重視	複数回答	最も重視	複数回答	最も重視
薬剤師の後発医薬品に対する理解、知識の向上	32.2%	10.2%	34.3%	8.7%	36.7%	13.3%
後発医薬品の指定銘柄を守ること	19.0%	8.1%	11.2%	3.2%	13.8%	3.9%
先発医薬品と後発医薬品で効能が異なる場合の確認	42.6%	15.2%	47.3%	13.7%	56.1%	26.4%
変更した調剤内容に付いての処方した医師へのフィードバック	37.8%	12.2%	40.8%	12.6%	40.6%	9.4%
一般名処方に対する調剤内容についての処方した医師へのフィードバック	22.3%	4.3%	21.3%	2.9%	26.2%	3.1%
患者へのきちんとした説明	52.5%	23.9%	66.1%	34.7%	56.1%	25.1%
お薬手帳の医薬品名に後発医薬品とわかるように表示すること	28.2%	2.8%	32.5%	4.0%	39.3%	7.0%
その他	2.5%	1.5%	1.8%	0.7%	2.6%	1.7%
保険薬局や薬剤師に望むことは特にない	9.4%	9.4%	5.4%	5.4%	5.7%	5.7%
無回答	5.8%	12.4%	7.2%	14.1%	0.7%	4.4%

病院・診療所調査

## 後発医薬品への変更を進めるための要件

医師調査

薬局調査

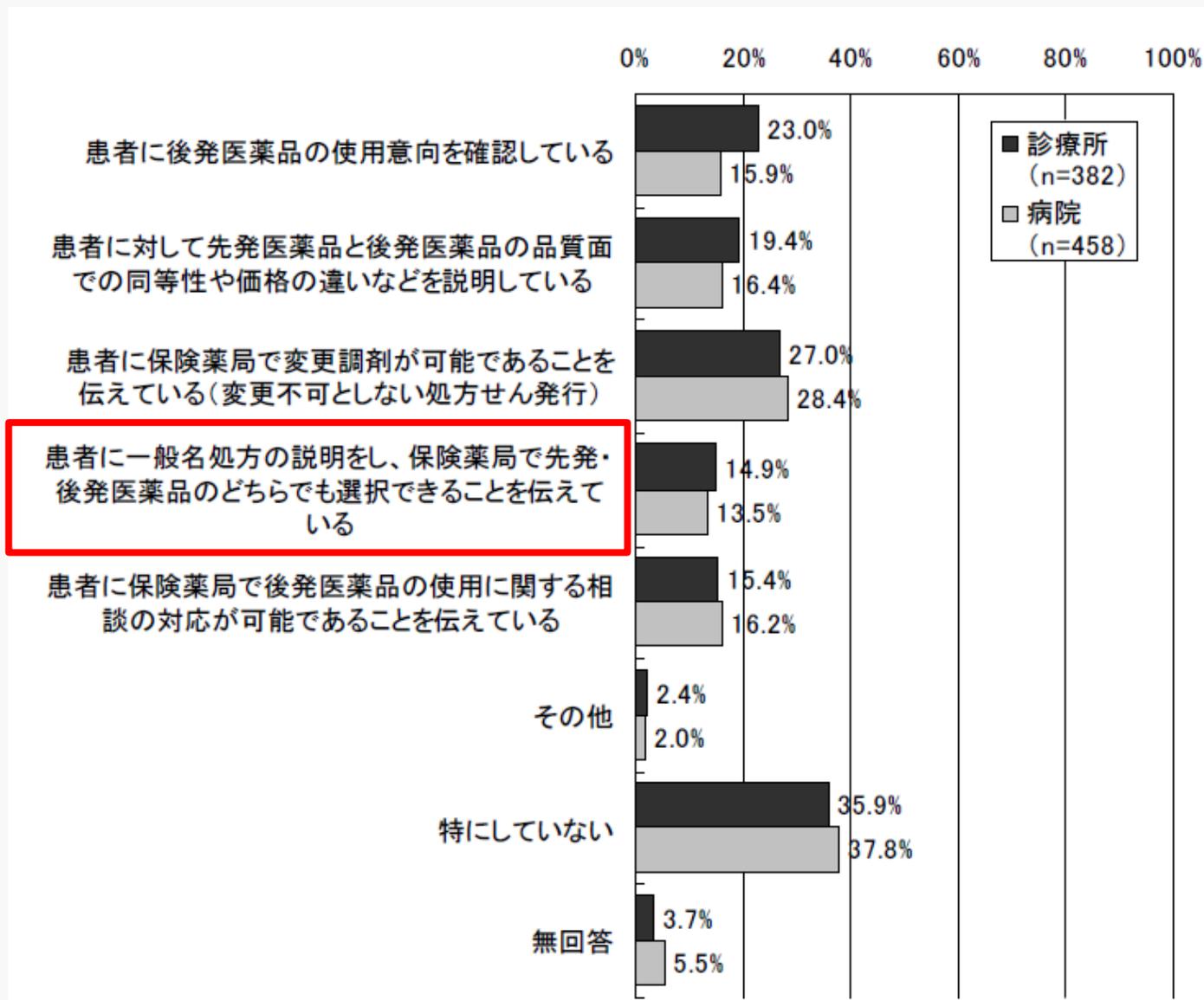
後発医薬品の使用を進める上でメーカーや卸業者に望むこと

	薬局		診療所		病院		病院医師	
	複数回答	最も重視	複数回答	最も重視	複数回答	最も重視	複数回答	最も重視
患者1人分での量など、分割や少量での販売をすること	65.3%	32.9%	18.0%	7.3%	30.0%	6.8%	15.7%	4.4%
後発医薬品の品目数の多さを是正すること	60.6%	25.9%	33.2%	13.2%	38.1%	13.6%	41.5%	12.7%
MRや卸の営業担当者を増やすこと	13.3%	1.2%	12.6%	3.8%	25.7%	4.3%	19.0%	3.9%
後発医薬品の販売名に一般的名称を使うなど、わかりやすいものにすること	50.0%	11.2%	42.7%	24.3%	51.4%	13.0%	54.1%	27.1%
副作用や処方時に必要な品質に関する個別の照会(DI業務)に対して、迅速かつ適切に対応すること	29.4%	3.7%	42.9%	22.3%	64.1%	28.8%	54.4%	28.8%
納品までの時間を短縮すること	42.2%	4.0%	6.3%	0.8%	22.9%	2.8%	7.2%	0.7%
品切れ品目がないよう、在庫を常に確保すること	60.6%	15.7%	22.1%	4.9%	57.3%	15.8%	22.3%	4.8%
その他	3.8%	1.9%	3.2%	3.0%	6.8%	5.6%	4.6%	4.4%
メーカーや卸業者に望むことは特にない	0.9%	0.9%	11.9%	11.9%	3.7%	3.7%	5.5%	5.5%
無回答	0.8%	2.6%	5.1%	8.5%	1.5%	5.6%	2.0%	7.9%

薬局では小包装対応、診療所・病院ではDI業務への迅速な対応が特に求められている。  
後発医薬品の販売名を一般的名称にするなどの要望も全体的に多い。

## 医師の対応

投薬又は処方せんの交付を行う際、患者が後発医薬品を選択しやすくするためにどのような対応をしているか

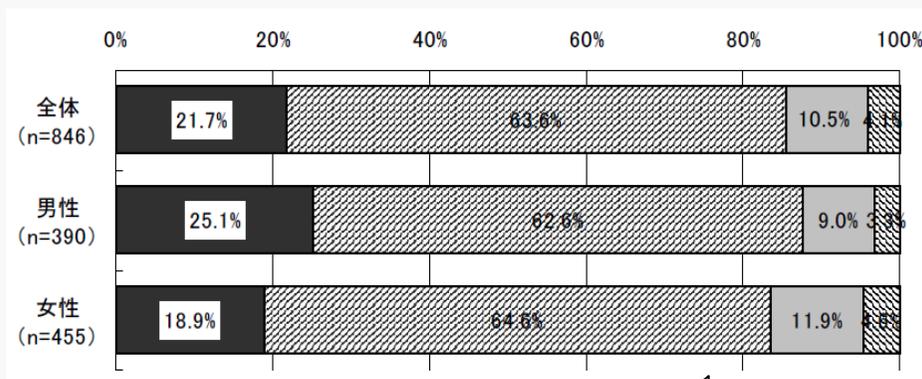


# 処方せんの希望

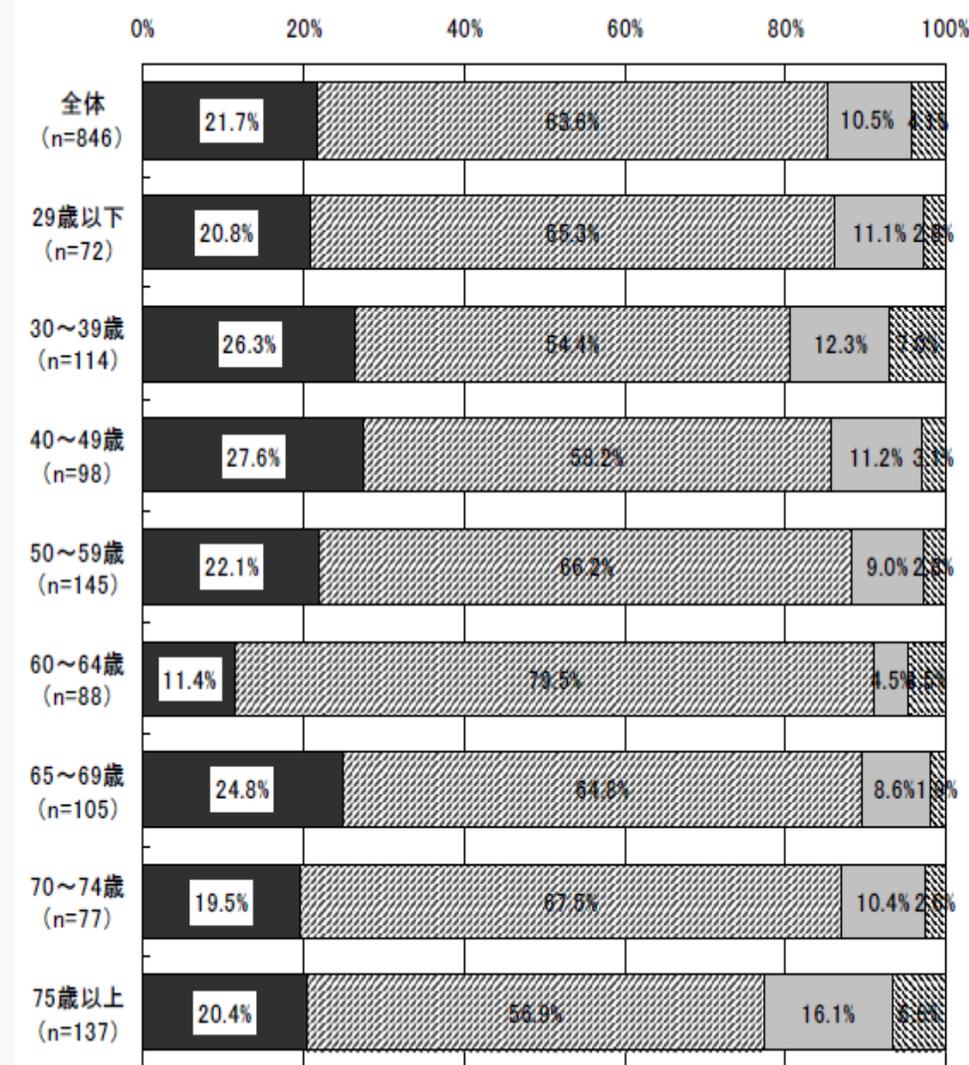
## 患者調査

### 処方についての今後の動向

(男女別)



(年齢階級別)



患者は80%以上が薬局で先発医薬品か後発医薬品を選べる処方を希望している。

- できるだけ、一般名処方にしてほしい
- ▣ できるだけ、医師が医薬品名を指定しつつ、薬局でジェネリック医薬品に変更することもできる処方にしてほしい
- できるだけ、医師が医薬品名を指定し、薬局で変更できない処方にしてほしい
- ▤ その他